

iC エンハンスプログラム（グローバルプログラム）

iC エンハンスプログラムは i コンピテンシーの活用を目的とする一宮高校独自の学校行事で、「サイエンスプログラム」と「グローバルプログラム」の二つのプログラムで構成しています。SSH 通信第3号では、昨年度の取組を中心に、グローバルプログラムを紹介します。

「グローバルプログラム」は国際性を身につけ、国境を超えて課題解決を目指す意欲を育成することを目的としており、留学生と交流する「iC エレメンタリーグローバルプログラム (iCEGP)」、海外高校生と交流し、英語による探究の成果を発表する「iC 英語交流発表会」、海外で研修する「iC 海外研修（韓国スタディーツアー）」があります。

iC エレメンタリーグローバルプログラム (iCEGP)

【育成する主なiコンピテンシー： I II Ⅲ Ⅳ V 】

令和元年7月17日（水）と12月13日（金）の2, 3, 4限（9:35~12:10）に、1年生対象で「一宮コンピテンシーエレメンタリーグローバルプログラム (iCEGP)」を本校で行いました。

講師として、岡山大学から留学生に来ていただきました。生徒8~10人と留学生1人がグループとなり、7月は英語でディスカッションを行い、12月はミニディベートを行いました。普段の授業ではなかなかできない経験を通じて、生徒は新たな目標を持ったり、現状の自分の力不足を実感したり、異文化理解の観点からの気づきを得たり等たくさんの学びがあり、大変充実した時間となりました。今年度は12月に実施する予定です。



iC 英語交流発表会

【育成する主なiコンピテンシー： I II Ⅲ IV V 】

平成23年度から交流を続けている韓国・慶南科学高校に訪してもらい、理数科生（1年・2年）と発表交流しています。今年度は慶南科学高校1年14名が来校しました。理数科1年生は、iC アカデミックイングリッシュの授業で作成した英語ポスターを用いて、英語による発表交流を行いました。また理数科2年生は、2つの研究班（物理分野 水柱班「水柱の原理」、化学分野 断熱班「おがくずを用いた新しい耐火性および断熱性素材の開発」）が課題研究の成果を英語スライドにまとめ、英語で口頭発表しました。慶南科学高校からは2グループが英語で口頭発表を行いました。今年度は、本校体育館を会場として実施したので、1年・2年生全員が口頭発表を聞くことができました。今年度は令和3年1月29日に実施予定です。



iC 海外研修（韓国スタディツアー）

【育成する主なiコンピテンシー： I II III Ⅳ Ⅴ】

研究内容や自分の考えを英語で論理的に述べる能力を身につけることと、科学技術分野におけるグローバルな視野を養うことを目的とした海外研修です。平成 23 年 12 月に交流協約を結んだ韓国慶南科学高校を訪問し、課題研究の英語ポスター発表会を実施しました。その他に、学校内に設置されている生徒寮での宿泊、博物館での合同研修を行い、昌原大学、国立科学館での研修などを実施した。

○第1日目 令和元年8月5日

岡山を朝早く出発し、福岡空港から釜山空港へ。ホテルに到着後は、慶南（ギョンナム）科学高校で明日披露するダンスの練習をしました。夕食後は、明日のポスターセッションの練習を行いました。すべて英語での発表です。質問も英語なので、うまく答えることができるか心配です。



○第2日目 令和元年8月6日

慶南科学高校に着きました。大歓迎で出迎えてくれました。歓迎行事では、太鼓や演奏、ダンスなどを見せていただきました。こちらは、昨日まで練習したダンスをKポップに乗せて披露しました。お互いに大きな拍手を送って、交流がスタートしました。

ポスターセッションで、お互いの研究成果を発表しました。慶南科学高校の皆さんのハイレベルな発表に刺激を受け、とても貴重な経験ができました。夜は、高校の寮に泊まり、友情も深まりました。



○第3日目 令和元年8月7日

昌原大学では、大学の敷地内をバスで移動しながらの研修でした。考古学の先生から石器時代の朝鮮の様子を説明していただき、次の施設では、大学の科学研究で使用する様々な実験設備を見学しました。

実習体験では、3Dペンでキーホルダーを制作しました。



○第4日目 令和元年8月8日

研修最後の訪問地、釜山国立科学館では、体験型の展示を見学しました。韓国の子供たちも多く来ていました。その後釜山空港から帰国しました。

今年度はコロナウイルス感染防止のため中止になりました。